



小さな拠点づくり

Creating a small base

私たちの町をご紹介



豊かな自然と 歴史の面影が残るまち

豊川地区は益田市街から東に位置し、日本海に注ぐ「益田川」が流れる自然豊かな地区です。地区内にある「韮草山(にらくさやま)」は、益田市で唯一の一等三角点を有する山で、西側の峰から市街地や日本海の素晴らしい景色を楽しむことができます。

韮草山の中腹にある「大元神社」には、樹齢約130年の大きなしだれ桜があり、昔から地元の人をはじめ多くの見物客が 訪れるお花見スポットとして知られています。

豊川小学校の北峰にある「大谷城」は、建久8(1196)年に石見国の武将・益田兼高によって築城され、その後、家臣の大谷氏の預かりとなり、大谷兼光のときに大谷城主となりました。八幡ソネ登山口と、斜面の緩やかな岸谷山道があり、現在も城跡を訪れることができます。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。



小さな拠点づくり

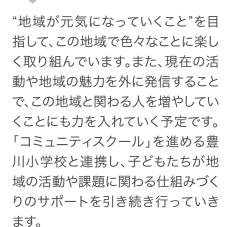
Creating a small base

点づくり small base 私たちの

豊川地区 (とよかわの未来をつくる会) (とよかわの未来をつくる会) (とよかわの未来をつくる会) (とよかりのままをつくる会) (とよかりのまなり) (とよりのまなり) (とよりのまなり)

「とよかワゴン」の運行住民の交流を支える

11



豊川小学校や公民館などの拠点で行われるイベントや、「百歳体操」など高齢者が健康づくりや交流を目的に集まる機会にあわせて、遠方に住む方の送迎を無料で行っています。また、子どもから大人まであらゆる世代の人が、地域内外への研修に出掛ける際の移動手段としても運行され、学びや新たな交流を支える重要な役割としても利用されています。

豊川地区では2012年から、子どもを中心とした地域づくりの核となる組織「つるうて子育て推進協議会」を結成し、子どもたちが主体的に取り組む活動のサポートを開始しました。地域の特色を活かした地域づくりをさらに進めていくため、2017年に地域自治組織「とよかわの未来をつくる会」を発足。地域で行う体験や活動を通して、住民自身が地域を知り、地域課題を身近に考えるきっかけに繋げています。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。



小さな拠点づくり

Creating a small base

益田市

11

私たちの

アイデア



まちのひとの声

「とよかわの家」の竹垣 を作る体験をしました。 竹を切るのは大変でし たが、この家に僕たちの 作ったものが使われる ことが嬉しいです。



"地域が元気になっていくこと"を目 指して、この地域で色々なことに楽し く取り組んでいます。また、現在の活 動や地域の魅力を外に発信すること で、この地域と関わる人を増やしてい くことにも力を入れていく予定です。 「コミュニティスクール」を進める豊 川小学校と連携し、子どもたちが地 域の活動や課題に関わる仕組みづく りのサポートを引き続き行っていき ます。

住民が自分たちで空き家の改修を 行った「お試し居住施設」です。益田 市外からの移住希望者の宿泊に利 用してもらうほか、地域内外の人が 囲炉裏や五右衛門風呂など昔の生 活を体験できる施設としても活用し ています。この施設を通して関係人 口の拡大や、子どもたちが様々な体 験を行うことで、「空き家」という課題 を身近に捉える機会にも繋がってい ます。

豊川地区では2012年から、子どもを中 心とした地域づくりの核となる組織「つ ろうて子育て推進協議会」を結成し、子 どもたちが主体的に取り組む活動のサ ポートを開始しました。地域の特色を活 かした地域づくりをさらに進めていくた め、2017年に地域自治組織「とよかわの 未来をつくる会」を発足。地域で行う体 験や活動を通して、住民自身が地域を知 り、地域課題を身近に考えるきっかけに 繋げています。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。